

日本維新の会



維新は有言実行！党内規約で独自に実践！

日本維新の会『政治改革大綱』を発表！

脱税！裏金！
政治と力ネの問題に
今こそ本気の改革を！

国民目線からかけ離れた政権与党！



衆議院
大阪府第16選挙区支部長
まさき

日本維新の会 常任役員 / 学生局副局長 大阪維新の会幹事長代行 / 堺市議団団長

図解

政治と力ネの問題に今こそ 本気の改革を！

問題の構造

対策

自民の
改革案

維新の
改革案

結果

派閥において
裏金作りが横行

そもそも犯罪行為。
政治家の倫理の問題



手段

法整備に抜け穴や
例外が多数存在

政治資金規正法の
例外規定の削除など



原因

政治にお金が
かかりすぎる現実

選挙制度を含めた
国会のあり方改革



- 政治と力ネの問題を本気で改革し、政治を浄化するためには課題の深掘りが必要です。自民党は今回の問題を派閥運営の問題にすり替え、表層的な解決方法で幕引きをしようとしています。
- 日本維新の会は裏金作りの手段となっている法の例外規定の削除に加え、課題の根底にある、力ネがかかる政治そのものを変えるべきと考え、政治改革大綱を策定。政権与党に本気の改革を迫っています。

維新は既得権を許さない！

政治にお金がかかることによって、企業や団体が政治家に大口の献金を行い、政治家はその見返りに業界団体に配慮して、国民が求める改革が進まないという構図が長く続いてきました。日本維新の会は政治と力ネの問題を根本解消することで、国民や次世代に向けた政治を実現します。



政治資金改革

企業や団体からの献金、パーティー券の購入を禁止

政治家の資金パーティーは事業収益として課税

違反の責任者を政治家本人として厳罰化

領収書の保管義務と第三者による監査

政治団体の親族による相続の禁止

旧文通費の使途公開と残額返還

国民が広く参加できる
政治本来のあり方に向け
個人の寄付を促進する
寄付税制の改正を
合わせて提案！

選挙制度・国会改革

非合理的な選挙制度の是正・選挙コストの圧縮

オンライン化やデジタル化の徹底による効率化

議員定数の大幅削減による派閥政治の解消

日程闘争など不毛な国会運営の慣習を廃止

■ 民間の目線に合わせて全ての制度を見直し、改革を提言！
日本維新の会は独自に党内規定を定め、法改正がなされなく
ても自主的に実施！「言ったことはやる」政治を貫きます。



まとめ解説 日本維新の会は

日本の政治を浄化する

Point

1

自民党に自浄作用はない

自民党は平成元年に世紀の大汚職事件「リクルート事件」を起こし、その時にも政治のあり方を抜本的に見直す改革大綱を作成したはずでした。しかし、文書の立派さとは裏腹に、その改革は実行されることなく、再び今回の裏金事件を起こす結果となりました。口だけの政治家に、国民の政治への信頼は今や地に墮ちたと言うほかありません。

Point

2

派閥改革だけでは日本の政治は変わらない

今回の事件は自民党派閥による組織的かつ意図的な裏金作りであり、民間であれば脱税です。しかし、メディアも含め、いつの間にか「派閥の改革」という小さな問題にすり替えられています。日本維新の会は問題の原因となった政治家に特権的な法の抜け穴や、そもそも政治にお金がかかる構造そのものを根底から改革します。

Point

3

最も大切なのは「実行する政治」

最も大切なのは「実行する政治」です。自民党も他の野党も改革案は立派なものを出しますが、言うだけで実行していません。日本維新の会は維新版政治改革大綱を国会で提案するとともに、党内規定を定めて出来ることは自主的に実践します。自分達が実践することで自民党や他の野党に言い訳を許さず、本気で政権与党に法整備を迫っていきます。

本気の改革を実現する日本維新の会にご支援をよろしくお願いします！

能登半島地震の被災者に義援金を送付

大阪維新の会堺市議団は公約で掲げた「議員報酬2割削減」が実現するまで自主的に削減し、これまででも被災地などに寄付してきましたが、能登半島地震の報に接し、被災者への義援金として1000万円を送付をしました。

